

令和 7 年度 事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 春日部市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営

(1)	理事会・評議員会等の開催	1
(2)	住民・法人会員制度の充実	6
(3)	広報の充実	6
(4)	合併 20 周年記念社会福祉大会の開催	6
(5)	寄附	6
(6)	健康でいきいきと働きやすい職場環境づくり	7

2. 福祉事業の推進

(1)	生活課題の解決に向けた地域支え合い活動の推進	7
(2)	支部社協活動の推進	12
(3)	権利擁護の推進及び相談支援体制の充実	16
(4)	ボランティア活動の推進	17
(5)	福祉教育の推進及び福祉人材の養成	18
(6)	在宅福祉の支援	20
(7)	社会参加の促進及び機会の提供	21
(8)	介護保険事業	21
(9)	障害福祉サービス事業	23
(10)	その他の事業	25

3. 収益事業

(1)	自動販売機設置経営事業の実施	25
(2)	不要入れ歯リサイクル事業	26

4. ふれあい広場

		27
--	--	----

令和7年度 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告

自: 令和7年4月1日

至: 令和8年3月31日

1. 法人運営

(1) 理事会・評議員会等の開催

会議名	会議開催日	議題
(1) 第1回理事会	令和7年4月11日	- 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事候補者の選定について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和7年度第1回評議員会の招集について - 春日部市中心身障害者通所支援施設指定管理者への応募について
(2) 第1回評議員会	令和7年4月28日	社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事の選任について
(3) 第2回理事会	令和7年4月30日	社会福祉法人春日部市社会福祉協議会常務理事の選定について
(4) 監事会	令和7年6月6日	- 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について - 令和6年度埼玉県共同募金会春日部市支会事業報告及び資金収支決算について
(5) 第1回正副会長会議	令和7年6月6日	- 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会定款の一部改正について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事、監事及び評議員の選任規程の一部改正について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事候補者の選定について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事候補者の選定について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について - 評議員選任・解任委員の選任について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和7

(6) 第3回理事会	令和7年6月12日	年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和7年度第2回評議員会の招集について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会定款の一部改正について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事、監事及び評議員の選任規程の一部改正について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事候補者の選定について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事候補者の選定について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について - 評議員選任・解任委員の選任について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和7年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について - 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和7年度第2回評議員会の招集について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員の選任について - 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会定款の一部改正について
(7) 第1回評議員選任・解任委員会	令和7年6月17日	
(8) 第2回評議員会	令和7年6月26日	

(9) 第4回理事会	令和7年6月30日	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事の選任について ・ 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について ・ 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について ・ 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について ・ 令和6年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会会長の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会副会長の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会常務理事の選任について
(10) 第2回正副会長会議	令和7年7月28日	・ 令和7年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支補正予算（第1号）について
(11) 第5回理事会	令和7年8月19日	・ 令和7年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支補正予算（第1号）について
(12) 第6回理事会	令和7年10月14日 (書面表決)	・ 合併20周年記念社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉大会表彰者について
(13) 第7回理事会	令和7年12月11日	・ 寄附金を活用した株式購入について ・ 令和7年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支補正予算（第2号）について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事候補者の選定について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事候補者の選定について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和7年度第3回評議員会の決議の省略について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和7年度第2回評議員選任・解任委員会の招集につ

(14) 第2回評議員選任・解任委員会	令和7年12月15日	いて ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会苦情解決に関する第三者委員の選任について
(15) 第3回評議員会	令和7年12月25日 (書面表決)	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事の選任について
(16) 第3回正副会長会議	令和8年2月13日	・ 令和8年度 春日部市社会福祉協議会 予算作成方針について ・ 国債買替えについて ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会各種規則等の一部改正について
(17) 第8回理事会	令和8年2月19日	・ 令和8年度 春日部市社会福祉協議会 予算作成方針について ・ 国債買替えについて ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会各種規則等の一部改正について
(18) 第4回正副会長会議	令和8年3月3日	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会苦情解決に関する第三者委員の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会ボランティアセンター設置及び運営要綱の一部改正について ・ 令和8年度資金運用計画について ・ 役員等賠償責任保険の契約について ・ 令和8年度春日部市社会福祉協議会事業計画(案)について ・ 令和8年度春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支予算(案)について ・ 令和8年度春日部市社会福祉協議会公益事業収支予算(案)について ・ 令和8年度春日部市社会福祉協議会収益事業収支予算(案)について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和7年度第4回評議員会の招集について

(19) 第9回理事会	令和8年3月10日	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会苦情解決に関する第三者委員の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会ボランティアセンター設置及び運営要綱の一部改正について ・ 令和8年度資金運用計画について ・ 役員等賠償責任保険の契約について ・ 令和8年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業計画(案)について ・ 令和8年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支予算(案)について ・ 令和8年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業収支予算(案)について ・ 令和8年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業収支予算(案)について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和7年度第4回評議員会の招集について
(20) 第4回評議員会	令和8年3月24日	・ 令和8年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業計画(案)について ・ 令和8年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支予算(案)について ・ 令和8年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業収支予算(案)について ・ 令和8年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業収支予算(案)について ・ 令和8年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業計画(案)について
(21) 第10回理事会	令和8年3月31日 (書面表決)	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会の設置経営する施設の長の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会の専任職員の採用、給与その他の勤務条件等に関する規程の一部改正について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

		・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会 SNS 運用規程の制定について
--	--	-------------------------------------

(2) 住民・法人会員制度の充実

地域に必要とされる地域福祉活動を推進するため、社協会員の募集に努めた。

- ・ 説明会日程：庄和（４月 9 日）、豊春（４月 10 日）、粕壁（４月 11 日）
豊野（４月 15 日）、武里（４月 16 日）、幸松（４月 17 日）
内牧（４月 18 日）

- ・ 社協会員会費実績

会費種別	目標額	実績額	達成率
一般会費	27,787,500 円	18,226,035 円	65.2%
賛助会費	—	978,000 円	—
特別会費	—	760,000 円	—
合 計	—	19,964,035 円	—

(3) 広報（広報誌、ホームページ）の充実

社協活動の周知や福祉への理解等を促進するため、広報誌「あしすと」を年 3 回全戸配布するとともに、「社協のご案内（冊子）」を発行した。さらに、SNS を活用し、これまで以上に情報発信力等の充実強化を図った。

- ・ あしすと 年 3 回（7 月、11 月、3 月）
- ・ 社協のご案内（冊子） 年 1 回（6 月）
- ・ 有料広告 3 事業者 280,000 円

(4) 合併 20 周年記念社会福祉大会の開催

春日部市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するとともに、市内の社会福祉関係者が集い相互の連携を深め、福祉活動の更なる普及と充実を図ることを目的として開催。「ふれあい広場」と同日開催とした。

- ・ 開催日 令和 7 年 11 月 30 日（日）
- ・ 場所 春日部市役所 ひだまりホール
- ・ 特別表彰者 130 名
- ・ 一般表彰者 244 名
- ・ 記念品 「ふれあい広場」 ご招待券 1,000 円分

(5) 寄附

社会福祉活動に関心を寄せる個人、団体、企業の皆さまから寄附を受け、地域福祉の推進に役立てた。

- ① 運営調整基金 1,114,859 円
- ② 地域福祉応援基金 432,000 円
- ③ 子ども子育て応援基金 252,350 円

○ 冠基金

① 青少年応援基金～希望のつばさ～ 1,730,000 円

子どもたちが同じスタートラインに立ち、将来の夢や希望を持てるよう支援することを目的として、高橋靖氏により設立された。

- ・ 日本電信電話株式会社 株式 500,000 株

(6) 健康でいきいきと働きやすい職場環境づくり

職員の健康や安全を守るための必要な対策について検討する衛生委員会の開催や職員のメンタルヘルス不調を未然に防止するストレスチェックの実施など働きやすい職場環境づくりに努めた。

2. 福祉事業の推進

(1) 生活課題の解決に向けた地域支え合い活動の推進

① コミュニティソーシャルワーク機能の充実

制度の狭間の問題や複合課題等への対応として、個人と地域、制度等をつなぐことで「地域における支え合いの仕組みづくり」につながるよう支援した。

② 生活支援体制整備事業（市受託事業）（事業区分：Ⅰ－15）

高齢化が進む中で生じる地域の抱える課題に対し、地域の社会資源である地縁組織やボランティア、社会福祉施設等さまざまな立場の方々が生活支援を行う「地域で支える仕組みづくり」を推進した。

・ ゆるまも講演会の実施	17 件
・ 地域開放スペースマップ・お役立ちマップの調整	13 件
・ 支部社協と第2層 SC との連携支援	305 件
・ ゆるまも通信の発行	2 件
・ 担い手の養成及び活動立ち上げ後の見守り支援	244 件
・ しゃべる場の開催	37 件
・ その他	1 件

○ 支部社協情報交換会兼支え合い会議（協議体。第1層：市圏域、第2層：支部社協圏域）

より地域に根ざした地域福祉活動を推進するため、支部社協関係者や地域包括支援センター、春日部市介護保険課など関係機関が集まり、地域の現状や課題について情報共有を行う情報交換会を開催した。

また、支部社協、地域包括支援センター等と連携し各地区（支部社協圏域）における「第2層支え合い会議」の支援など地域の支え合い活動実施に向けた支援を行った。

- ・ 「支部社協情報交換会兼かすかべ支え合い会議」（第1層協議体）

令和8年2月6日 参加者：60名

令和7年度事業実績・今後の取組みについて

○ 「かすかべ ゆるまも通信」 発行

地域の支え合い活動や生活支援コーディネーターの活動を周知するため、広報物を発行していたが、より多くの方に関心を持っていただけるよう、令和8年3月より、社協だより「あしすと」に地域活動紹介コーナーを設け掲載。

○ 「地域の困りごとアンケート」の実施

地域の「日常生活からの困りごと」や「相談先の有無」、「近所づきあいの程度」、「居場所」等を把握することで、支部社協等との連携の中で、今後の居場所づくりに役立てるようアンケートを実施した。

○ 「しゃべる場」の実施

第3層圏域（単位・複数自治会圏域）において、第2層生活支援コーディネーター（各地域包括支援センター）と連携して開催に向け調整を進め、「しゃべる場」として開催出来た地区もあったが、開催出来なかった地区についても、各地域のサロンやボランティア団体等を訪問し、活動状況や困りごと等を共有する「ミニしゃべる場」を実施した（計60ヶ所）。

○ 担い手養成講座の開催

地域住民が社会参加、社会的な役割を持つ事で生きがいを感じ、介護予防に加え、地域づくりにつなげられるよう、地域活動を担う人材を養成した。

・ 牛島地区“助け合いの会”話し合い

令和7年10月20日 参加者：10名

県内の助け合い活動紹介（DVD視聴）

情報交換会

※ その後月1回の話し合いを重ね、「モーモーあいランド」として活動開始

・ お助け隊情報交換会

令和8年1月21日 参加者：21名

各団体の紹介及び活動についての情報交換

・ 「担い手養成講座 地域活動者のつどい」の開催

令和8年3月30日 参加者：65名

DVD鑑賞（27分程度）「～災害から一人の命も取り残さないために～

要配慮者の備えと避難行動」

補足説明「地域の取り組みと“ゆるまも”について」

情報交換「活動紹介・活動の中で工夫していること」

「DVDを見て自分たちにできると感じたこと」

○ 訪問型サービスA従事者養成研修

介護保険課から訪問型サービスA事業所を対象に養成研修のニーズ調査を行った結果、希望する事業所がなかったため、介護保険課と協議を行ない、令和7年度は開催見送りとした。

③ 市内社会福祉施設等との連携

制度の狭間の問題や新たな課題等に対する地域の支え合い活動の推進のため、福祉施設等と地域との連携・協働による取り組みを進めた。

○ 春日部市社会福祉法人連絡会

高齢者、児童、障がい者などの分野を超えた社会福祉法人相互の更なる連携や地域社会の課題解決を図るため、「春日部市社会福祉法人連絡会」を開催し「社会貢献事業の企画、検討及び実施」、「会員相互の情報交換」、「福祉ニーズの把握及び課題解決のための取り組み」などについて検討を進めた。

- ・ 「春日部市社会福祉法人連絡会」

令和7年11月8日 参加：4法人4名

各法人が取り組まれている社会貢献活動等の紹介

公的制度だけでの対応が困難なケース

講演「こども・若者の困窮に向き合う」

生活困窮者自立支援全国研究交流大会 全体会をオンラインで視聴

子どもの支援ネットワーク団体との情報共有の場

○ 「地域開放スペース」の推進（「地域開放スペースマップ」の発行）

市内の福祉施設等と地域とをつなぐため、法人の運営する施設内の会議室等を地域住民へ開放する「地域開放スペース」の拡充に努めた。また、担い手の養成等において「地域開放スペース」を活用することにより、福祉施設等と地域との連携・協働による取り組みを進めた。

17 団体掲載、1 回発行

○ かすかべお役立ちマップ

地域の支え合い活動の啓発、利用促進の「見える化」を図るため、サロンや会食会、生活支援団体等地域ごとの支え合い活動を掲載した「お役立ちマップ」を作成した。

④ 彩の国あんしんセーフティネット事業

既存の制度では対応しきれない制度の狭間にある生活困窮者等が抱える生活課題に対し、市内の社会福祉法人との連携・協働により相談支援を実施した。

- ・ 支援件数 なし
- ・ 支援内容 相談支援、経済的支援、食糧支援
- ・ 参加法人 孝楽会、子供の町、庄和和合会、かがやき
- ・ 連絡会 令和8年3月28日

子どもの支援ネットワーク団体との情報共有の場として

情報交換「現在の活動状況について」

意見交換「複数課題を抱える世帯の支援について」

⑤ かすかべ家事サービス事業（事業区分：Ⅰ－６）

日常的な家事や院内介助など地域の支え合い活動を進めることにより、安心して暮らす事のできる地域づくりを推進した。

- ・ 協力会員養成研修会

令和 7 年 9 月 9 日

「車いすの操作と実技」

※ 福祉教育（車いす・アイマスク指導者）と合同研修

令和 7 年 12 月 10 日

「軽度認知障害（MC I）と認知症の方との接し方」

令和 8 年 3 月 26 日

傾聴講座「傾聴の基本 ～相手の気持ちの寄り添い方～」

- ・ 会員数 利用会員：52 名 協力会員：53 名
- ・ 支援実績 件数：1,056 件 時間数：1,360 時間

⑥ ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）（事業区分：Ⅱ－１）

地域の支え合い活動を進めることにより、仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、子育て支援の充実を図った。

- ・ 会員養成講座

日程	内容	参加者数
令和 7 年 5 月 29 日・30 日	事業説明 講義 こどもの健康と安全について 保育の心構えとこどもの接し方	7 名
8 月 27 日・28 日		13 名
10 月 28 日・29 日		6 名
令和 8 年 1 月 20 日・21 日		10 名

- ・ スキルアップ講座

日程	内容	参加者数
令和 7 年 6 月 18 日	薬の正しい知識と感染症予防	12 名
9 月 18 日	幼児救命救急講座受講	10 名
12 月 16 日	児童虐待と支援のあり方	19 名
令和 8 年 2 月 20 日	幼児救命救急講座受講	7 名

- ・ 会員交流会

日程	内容	参加者数
令和 7 年 7 月 23 日	絵本の読み聞かせ講座 ～絵本の世界を楽しもう～	12 名

- ・ 会報紙の発行 年 1 回（3 月）
- ・ 会員数 依頼会員：1,330 名 提供会員：261 名 両方会員：125 名
- ・ 活動件数 1,217 件
- ・ 無料券（小学生以下の児童が 3 人以上いる依頼会員）
15 件（利用者：11 名、無料券：149 枚使用）
- ・ ひとり親家庭助成券 39 件（利用者：10 名、助成券：151 枚使用）

⑦ 子どもの居場所づくり（事業区分：Ⅰ－３・９）

子どもの貧困に係る課題や社会的孤立への対応として、子どもの居場所（ボランティア団体やサロン等）について、地域住民とともに考え、取り組むことで、地域の支え合い活動の仕組みづくりにつなげた。

○ 「わくわく芋ほり」

「地域のつながり」づくりのため、ボランティア所有の畑にて芋掘りを実施した。

日程	参加者	ボランティア
令和7年 4月26日（サツマイモ苗植え）	6名	7名
6月14日（ジャガイモ掘り）	12名	9名
10月14日（サツマイモ掘り）	13名	5名
令和8年 3月7日（ジャガイモ種芋植え）	6名	7名

○ 「わくわくの森」（子どもサロン）

長期休みの子どもの居場所づくりのため、牛島ボランティアセンターにて実施した。

内容：モノ作り、昔遊び、手作りゲーム

日程	参加者(延べ)	ボランティア
令和7年 8月18日・19日	20名	12名
令和8年 1月6日・7日	23名	13名

○ ひとり親家庭食材配付事業（かすかベココつな便）

継続的な課題を抱えるひとり親世帯等に対し、地域住民や社会福祉法人連絡会等の参加と協力を得て、毎月、食の支援を図るとともに、継続的な相談支援を行った。

- ・ 利用登録世帯数 50世帯(家族人数：145名)
- ・ 寄付寄贈件数 101件
- ・ 相談件数 721件
- ・ かすかベココつな便交流会（青少年応援基金～希望のつばさ～ 活用事業）

令和7年12月13日 行先：ユナイテッド・シネマ春日部（映画鑑賞）

参加者：大人18名、子供26名 計44名

- ・ かすかベココつな便利用者向け研修会開催
（福祉サービス利用援助事業の生活支援員研修と合同開催）

令和8年2月13日

講義：金融トラブル防止について

講師：日本貸金業協会

参加者：大人2名

○ ひとり親家庭受験生応援事業

ひとり親家庭の子どもの将来の自立に向けた取り組みを支援するとともに、大学・高校受験に係る経済的な支援（図書カード3,000円分）を図るとともに、継続的な相談支援につなげた。

- ・ 利用世帯数 19世帯(利用人数：19名)

○ 子どもの支援ネットワーク

課題を抱える子ども等に対する地域全体での支援体制をより充実させていくため、子どもの居場所づくりや子ども支援を行う団体間のつながりづくりを目的としたネットワーク会議を開催した。

- ・ 令和7年6月27日 参加団体数：10団体
- ・ 令和8年3月28日 参加団体数：10団体
- ・ 令和7年11月8日 研修会開催 参加団体数：3団体

講演「こども・若者の困窮に向き合う」

生活困窮者自立支援全国研究交流大会 全体会をオンラインで視聴

春日部市社会福祉法人連絡会登録法人との合同研修・情報共有

○ ひとり親家庭の親子交流支援 日帰りバスツアー（青少年応援基金～希望のつばさ～ 活用事業）

- ・ 令和7年11月14日
- ・ 行き先：東京ディズニーシー
- ・ 参加者：64名（25世帯）

○ 塾費用支援（青少年応援基金～希望のつばさ～ 活用事業）

- ・ 利用人数：1名（1世帯）

⑧ 春日部市子育て世帯訪問支援事業（事業区分：Ⅰ－16）

家事や育児に対する不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を「訪問支援員」が訪問し、家事・育児等を支援した。

- ・ 利用世帯数 32世帯

(2) 支部社協活動の推進（事業区分：Ⅰ－2・9）

より身近な地域福祉を推進するため、その中心的な役割を担う各支部社協（粕壁・内牧・武里・豊春・幸松・豊野・武里団地・庄和）と連携することで、地域の様々な課題や特性に応じた支部社協活動を推進した。

○ 支部社協活動の支援

- ・ 支部社協活動費

支部名	助成額	支部名	助成額
粕壁	1,931,000円	幸松	1,866,000円
内牧	1,267,000円	豊野	1,488,000円
武里	2,332,000円	武里団地	581,000円
豊春	2,162,000円	庄和	2,022,000円

・ 支部社協歳末福祉事業活動助成金

支部名	助成額	支部名	助成額
粕壁	207,000 円	幸松	202,000 円
内牧	133,000 円	豊野	174,000 円
武里	234,000 円	武里団地	80,000 円
豊春	275,000 円	庄和	291,000 円

① 見守り・声かけ活動

支部社協等の協力のもと、単身高齢者や高齢者夫婦世帯への見守り体制を整えるとともに、高齢者だけでなく、ひとり親世帯、ヤングケアラー、不登校、生活困窮、社会的孤立に陥っている人などに対し、一人ひとりが支え合いという認識を感じられるような地域づくりを進めるため、地域全体で“ゆるやかに” “さりげなく” “無理をしない” 「ゆるやかな見まもり（ゆるまも）」活動への周知啓発を図った。

地区名	開催日	内容	受講者数
粕壁	5.21	講義・ミニしゃべる場 サロン一宮町長寿会	10 名
内牧	4.18	ミニしゃべる場 ベじた一ず若葉っちゃん	6 名
	6.25	ミニしゃべる場 ベじた一ず若葉っちゃん	7 名
	7.1	ミニしゃべる場 サロン助成金交付会議	9 名
	7.19	講義・ミニしゃべる場 四方谷ふれあいサロン	8 名
	11.29	講義・ミニしゃべる場 支部社協ふれあい会食会	30 名
	12.6	ミニしゃべる場 高野台（歩こう会）サロン	20 名
	12.21	ミニしゃべる場 アンダンテ	11 名
武里	4.24	ミニしゃべる場 池の端談笑部屋	10 名
	8.8	講義・ミニしゃべる場 武里西地区民協定例会	33 名
	9.2	講義・ミニしゃべる場 さくら草の会	42 名
	11.26	講義・しゃべる場 薄谷しゃべる場	22 名
	12.10	ミニしゃべる場 あそこん家	6 名
豊春	4.18	講義・ミニしゃべる場 皇帝ダリア会	4 名
	5.15	講義・ミニしゃべる場 大沼ほのぼのサロン	20 名
	6.11	講義・ミニしゃべる場 上蛭田いきいきサロンさくら	4 名
	9.21	講義・ミニしゃべる場 下蛭田自治会	39 名
	10.20	講義・ミニしゃべる場 大沼ほのぼのサロン	20 名
	11.29	ミニしゃべる場 豊春ささえあい会議	30 名
	12.5	ミニしゃべる場 豊春ささえあいミーティング	35 名
	2.17	ミニしゃべる場 サロン春風	16 名
	2.18	ミニしゃべる場 いきいきサロンバラ	10 名
	2.19	ミニしゃべる場 わかばふれあいサロン	9 名
	3.2	ミニしゃべる場 豊町東ふれあいサロン	7 名
	3.4	ミニしゃべる場 モンキーポート豊春西	52 名

幸松	6. 6	ミニしゃべる場 牛島 1 番組えん Joy トレーニング	18 名
	6. 10	ミニしゃべる場 いきいきサロンうしよん	15 名
	6. 27	ミニしゃべる場 うしじまほほえみ会	15 名
	9. 3	ミニしゃべる場 遊里くらぶ	9 名
	10. 20	講義・ミニしゃべる場 牛島地区助け合いの会	10 名
	12. 5	ミニしゃべる場 幸松地区連合地区食事会	77 名
豊野	6. 13	ミニしゃべる場 六軒町そば打ちサロン	57 名
	7. 5	講義・ミニしゃべる場 支部社協サロン担当者会議	28 名
	10. 15	ミニしゃべる場 六軒町そば打ちサロン	60 名
	11. 28	ミニしゃべる場 豊野支部社協おたすけ隊	15 名
	12. 26	ミニしゃべる場 豊野支部社協おたすけ隊	15 名
	2. 19	ミニしゃべる場 六軒ふれあいグラウンドゴルフ	15 名
	2. 27	ミニしゃべる場 藤塚新田いきいきサロン	21 名
武里団地	9. 29	しゃべる場 支部社協研修	33 名
庄和	4. 20	講義・ミニしゃべる場 榎長寿会	5 名
	4. 28	ミニしゃべる場 井戸端サロン	15 名
	5. 9	ミニしゃべる場 ほっこり虹の会	7 名
	5. 22	ミニしゃべる場 新ふれあい会食会	10 名
	6. 4	ミニしゃべる場 よつば会	8 名
	6. 6	ミニしゃべる場 榎長寿会	3 名
	6. 18	ミニしゃべる場 支部社協サロン助成金交付会議	16 名
	7. 11	講義・ミニしゃべる場 榎地区	7 名
	7. 20	ミニしゃべる場 ガーデンタウン自治会いきいきサロン	12 名
	10. 24	講義・しゃべる場 支部社協研修	29 名
	10. 26	ミニしゃべる場 榎長寿会	6 名
	11. 18	ミニしゃべる場 支部社協ボランティア団体助成金交付会議	19 名
	1. 14	ミニしゃべる場 ほっこり虹の会定例会訪問	8 名
	2. 19	ミニしゃべる場 新ふれあい会食会	20 名
	3. 11	ミニしゃべる場 くだりざか・・・	13 名
全地区	12. 2・3	講義 ふれあい大学	100 名
	1. 21	ミニしゃべる場 お助け隊情報交換会	13 名
	3. 30	講義・ミニしゃべる場 担い手養成講座 地域活動者のつどい	65 名
合計			1, 204 名

② ふれあい会食会

支部社協や地域住民の協力のもと、単身の高齢者や高齢者夫婦世帯などを対象に、地域での交流の場や生きがいを図るため、支部社協やボランティアグループ、小地域での会食会（配食）活動を支援した。

- 支部社協主催

支部	実施日	支部	実施日
粕壁	対象者へクオカード配付	豊野	11月20日
内牧	11月29日	幸松	牛島10月29日、不動院野11月9日、小渕11月15日、八丁目11月30日、連合12月5日
武里	10月16日、11月20日	武里団地	6月15日、9月21日、12月21日
豊春	11月16日	庄和	11月11日・13日 配食

- ボランティアグループ等（延べ参加者数 2,730 名、延べ活動者数 995 名）

ボランティアグループ：7 団体 60 回開催

モンキーポート豊春東	モンキーポート豊春西
モンキーポート武里	モンキーポート豊野
ほのぼの会	新ふれあい会食会
会食会こすもす	

小地域：13 団体 17 回開催

小渕地区福祉ニーズ対策委員会	牛島地区福祉ニーズ対策委員会
八丁目地区福祉ニーズ対策委員会	不動院野地区
幸松・連合地区	新川島自治会
六軒町ふれあい食事会	三本木自治会
荻原地区自治会	文化村ふれあい会食会
本田上地区ふれあいチーム	武里東民児協備後地区
武里西民協須賀地区	

③ ふれあい・いきいきサロン

地域での交流や居場所づくり、生きがいを進めるため、「ふれあい・いきいきサロン」の設置促進や活動助成を実施した。

- 登録団体数

支部名	高齢者	介護者	子育て	地域交流	計
粕壁	5	－	－	－	5
内牧	3	－	－	－	3
幸松	4	－	－	－	4

豊野	8	-	1	3	12
武里	13	-	1	5	19
豊春	26	-	-	4	30
武里団地	1	-	-	-	1
庄和	12	-	-	1	13
計	72	-	2	13	87

- ・ 助成額 1,275,000 円 (85 団体)

○ ふれあい・いきいきサロン研修

「担い手養成講座 地域活動者のつどい」と合同で開催した。

(3) 権利擁護の推進及び相談支援体制の充実

① 福祉サービス利用援助事業（県社協受託事業）（事業区分：Ⅰ－８）

判断能力が不十分なため日常生活を営むのに支障がある人に対し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを実施した。

- ・ 利用者数：28 名 生活支援員数：16 名 相談件数：827 件 支援件数：484 件
- ・ 生活支援員研修 令和 8 年 2 月 13 日

講義「金融トラブル防止について」

講師：日本貸金業協会

意見交換会「支援時の対応について等」

※ 講義内容から「かすかベココつな便」利用者と合同研修

② 生活福祉資金貸付事業（事業区分：Ⅰ－７）

世帯の生活の安定や自立の更生を図るため、生活が困窮している世帯に対し、相談や福祉資金の貸付支援を行った。

- ・ 相談件数：1,219 件（延べ）
- ・ 申請件数：8 件

《内訳》	・ 総合支援資金	0 件
	・ 福祉資金	4 件
	・ 教育支援資金	0 件
	・ 緊急小口資金	4 件
	・ 要保護不動産担保型資金	0 件

③ 小口福祉資金貸付事業（事業区分：Ⅰ－13）

生活が困窮している会員（住民）世帯の生活の安定や自立の更生を図るため、福祉資金の貸付を実施した。また、償還滞納世帯に対し、督促状を送付するなどの償還指導を行った。

- ・ 新規貸付件数及び貸付金額 78 件 1,280,000 円
- ・ 償還件数及び償還金額 96 件 1,481,727 円
- ・ 未償還金額(累計) 2,154,000 円

④ 心配ごと相談事業（事業区分：Ⅰ－10）

日常生活から発生する悩み事など心の問題や法律の問題を、臨床心理士・弁護士が相談員となり、問題解決に向け支援を行った。

- 心の相談 毎月第2・第4金曜日（午前9時～正午）
相談員：1名（臨床心理士） 相談件数：28件
- 弁護士相談 毎月第2・第4金曜日（午後1時～午後4時）
相談員：2名（弁護士） 相談件数：124件

(4) ボランティア活動の推進（事業区分：Ⅰ－4・5）

地域福祉の推進を図るため、その担い手となる「ボランティア」の育成及び活動支援を行った。

① ボランティアセンターの運営

ボランティア活動の推進を図るため、ボランティア活動希望者やボランティアグループに対して、ボランティア活動の紹介・情報提供等を行った。

- ・ ボランティア相談件数：328件 マッチング件数：40件

- ボランティアパートナーの配置（牛島・浜川戸・栄町・武里地区ボランティアセンター）
ボランティア活動に関する相談対応や情報提供等を行うため、各ボランティアセンターにボランティアパートナー9名を配置した（月～金 午前10時～午後4時、浜川戸のみ月・水・金）。栄町ボランティアセンターR8.1.17 開所
また、ボランティアパートナー間の情報交換や資質向上を図るため、定期的に会議を開催した。

○ ボランティアセンターの貸出

センター	件数	利用者数 (V 相談含む)
春日部	136 件	419 名
牛 島	172 件	1,110 名
浜川戸(～R7.12)	13 件	22 名
栄 町(R8.1～)	7 件	10 名
武 里	14 件	17 名
計	342 件	1,578 名

② ボランティアの育成及び活動支援

ボランティア活動の啓発及びボランティア自身が地域の課題解決への担い手となれるよう支援した。

○ ボランティアの育成及び活動支援

- ・ 「ボランティア交流会」の開催
令和7年9月13日 参加者：32名
講義 「外国にルーツのある方々とともに生きる」
- ・ 彩の国ボランティア体験プログラム事業
実施期間：令和7年7月～令和8年2月
プログラム数：40件 参加者：22名
- ・ 「ボランティアフェスティバル」
令和8年2月14日 会場：ララガーデン春日部 参加者：430名
共催：春日部市ボランティア活動推進連絡会
内容：各ボランティア団体によるパネル展示、ステージ発表、折り紙体験、手話体験、ハンドセラピー体験、ボランティア相談
- ・ 「おうちで出来る！ボランティア活動」 参加者：19名、7団体
- ・ 「福祉機器お手入れボランティア」 参加者：22名

○ ボランティア活動への助成

ボランティアグループの育成やボランティア活動を推進するため、育成費の助成を実施した。 交付団体：33団体

③ 災害ボランティアセンターの対応

災害ボランティアの養成や災害ボランティアセンターの開設や運営に備えるため、講座や訓練を実施した。

- ・ 「災害ボランティア登録者養成講座」
令和8年2月28日 参加者：市民11名、職員20名
講義 今後想定される災害
災害時の備え 備蓄品・トイレ
グループワーク 災害ワークショップ
災害ボランティアセンター設置運営訓練

④ 庄和社会福祉センターの貸出（事業区分：Ⅱ－２）

地域福祉推進を図るため、福祉活動の場として施設の貸出を行った。

- ・ 利用件数：642件 利用者数：7,723名

(5) 福祉教育の推進及び福祉人材の養成

① 福祉教育の推進

小中学校や当事者団体、社会福祉法人、ボランティアグループ等の協力のもと、誰もが地域の一員であるという意識の醸成を図るとともに、福祉に関する問題や活動への興味を促し、地域活動への参加をとおして地域づくりにつながるよう福祉教育を進めた。

・ 体験者数等

内 容	体験者数(延べ)
車椅子体験学習	712 名
福祉講演	1,310 名
アイマスク体験学習	427 名
手話体験学習	592 名
点字体験	531 名
高齢者疑似体験	567 名
合 計	4,139 名

体験実施区分	件数	体験者数(延べ)
小学校	36 件	2,911 名
中学校	11 件	1,129 名
その他	3 件	99 名
合 計	50 件	4,139 名

② 長寿を祝う会（事業区分：Ⅰ－11）

多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝うため満 80 歳以上の方を対象とした「長寿を祝う会」を開催した。

令和 7 年 10 月 13 日 会場：正和工業にじいろホール 参加者数：2,276 名

アトラクション内容

地域芸能：春日部市文化連合会

落 語：三遊亭楽生（かすかべ親善大使）

演 奏：春日部市立東中学校

③ ふれあい広場の開催（事業区分：Ⅰ－12）

心のふれあいを通して、住みよいまちを築くため、福祉に対する理解を深めるとともに、交流の輪を広げ思いやりのある心を育てるために「ふれあい広場」を開催した。

令和 7 年 11 月 30 日 会場：春日部市役所

※ 詳細については 27 ページ参照

④ 社会福祉従事者の養成

社会福祉活動者の育成や地域への貢献を図るため、大学等から実習生の受け入れを行った。

社会福祉士現場実習

日数	人数	学校等	実習先
8 日	1 名	埼玉県立大学	地域福祉
8 日	1 名		
16 日	1 名		
合計	3 名		

インターンシップ

日数	人数	学校等	実習先
7 日	1 名	埼玉県立大学	地域福祉
5 日	1 名		
合計	2 名		

介護実習等

日数	人数	学校等	実習先
7 日	19 名	春日部市立看護専門学校	訪問介護
4 日	2 名	吉川福祉専門学校	
2 日	19 名	春日部市立看護専門学校	あしすと春日部デイサービスセンター
2 日	4 名	春日部市立看護専門学校	地域包括支援センター
1 日	1 名	人間総合大学	
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (高等部 2 年)	リサイクルショップ
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (高等部 1 年)	
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (中学部 3 年)	
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (中学部 2 年)	
1 日	2 名	専門学校日本医科学大学校	
1 日	2 名	春日部特別支援学校 (高等部 1 年)	ゆりのき支援センター
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (中学部 2 年)	
1 日	2 名	春日部特別支援学校 (中等部 1 年)	
1 日	2 名	専門学校日本医科学大学校	
1 日	3 名	専門学校日本医科学大学校	ひまわり園
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (高等部 2 年)	
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (高等部 1 年)	
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (中学部 3 年)	
1 日	3 名	春日部特別支援学校 (中学部 2 年)	
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (中学部 1 年)	
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (高等部 1 年)	ふじ支援センター
1 日	2 名	春日部特別支援学校 (中学部 3 年)	
1 日	2 名	春日部特別支援学校 (中学部 2 年)	
1 日	4 名	春日部特別支援学校 (中学部 1 年)	
5 日	1 名	春日部特別支援学校 (高等部 2 年)	
1 日	4 名	専門学校日本医科学大学校	
1 日	2 名	専門学校日本医科学大学校	あおぞら
1 日	1 名	春日部特別支援学校 (高等部 1 年)	
1 日	3 名	春日部特別支援学校 (中学部 2 年)	
1 日	1 名	宮代特別支援学校 (中学部 1 年)	
合計	89 名		

(6) 在宅福祉の支援

① 紙おむつ配付事業 (事業区分: I-3・9)

経済的負担の軽減や在宅での介護を支援するため、在宅の寝たきり高齢者や重度障がい者のいる世帯に対し、紙おむつを配付した。

- ・ 配付回数 年 6 回（5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月）
- ・ 対 象 者 高齢者 65 歳以上の課税世帯で要介護 4・5 に該当する人
障がい者 3 歳以上 65 歳未満の身体障害者手帳 1・2 級または療育手帳㊤・A を所持し、肢体不自由のうち下肢または体幹機能障害のある人で、紙おむつ以外の方法で排泄処理が出来ない人
- ・ 配付件数

	フラット タイプ	テープタイプ			尿取り パット	パンツタイプ				子供用 テープ・ パンツ	計
		S	M	L		S	M	L	LL		
高齢者	7	11	87	46	98	8	100	97	66	0	520
障がい者	6	0	19	25	17	0	15	4	12	6	104
合計	13	11	106	71	115	8	115	101	78	6	624

② 車椅子貸出事業（事業区分：Ⅰ－9）

高齢者等歩行が困難な方への外出支援や福祉教育の推進を図るため、車椅子の貸出を行った。

- ・ 貸出件数：246 件
あしすと：187 件、庄和支所：40 件、ふじ支援センター：6 件、
ひまわり園：0 件、リサイクルショップ：1 件
ゆりのき支援センター：12 件

③ 有償ホームヘルプサービス事業（事業区分：Ⅰ－14）

介護保険制度や障害者総合支援法に定めるホームヘルプサービス事業を補完するため、有償ホームヘルプサービスを提供できる体制を整えた。

(7) 社会参加の促進及び機会の提供

① 手話通訳派遣事業（市受託事業）（事業区分：Ⅱ－3）

社会生活におけるコミュニケーション等を円滑にするため、聴覚障がい者や音声、言語機能障がいのある方に対し、手話通訳者の派遣を行った。

- ・ 手話通訳者：6 名 手話通訳利用者：40 名 派遣件数：749 件

② 福祉車両貸出事業（事業区分：Ⅰ－3）

車椅子利用者の外出支援を図るため、高齢者や障がい者等に対して、福祉車両（計 2 台）の貸出を行った。 ※ 令和 7 年 8 月以降、1 台のみ貸出

- ・ 利用件数：121 回（あしすと：106 回、庄和支所：15 回）

(8) 介護保険事業

① 居宅介護支援事業（事業区分：Ⅱ－5）

介護保険認定の高齢者に対して、心身の状況、周辺環境、本人やその家族の意向等を勘案し、適切な居宅サービスの利用が可能となるよう居宅サービス計画（ケアプラン）の作

成を行った。

また、居宅生活がケアプランに基づき円滑に行われるよう、指定居宅サービス事業者や関係機関と連携を図りながら適切な支援を行った。

- ・ ケアプラン作成件数（予防プラン含む）：1,378 件 認定調査件数：37 件

② 訪問介護事業（事業区分：Ⅰ－17）

要支援者や要介護者その家族等の負担軽減を図るため、感染防止対策を図り、介護計画等に基づきホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことが出来るように適切な援助を行った。

- ・ 利用者数等

	訪問介護事業	第1号訪問事業
利用者実人数（月平均）	26 名	10 名
身体介護	726 時間 00 分	
生活援助	732 時間 17 分	511 時間 50 分
身体生活	942 時間 45 分	
合 計	2,401 時間 02 分	511 時間 50 分

③ 通所介護事業（あしすと春日部）（事業区分：Ⅰ－18）

要支援者や要介護者の生活の助長、心身機能の維持向上等や、その家族の介護負担の軽減を図るため、通所による入浴、給食、生活指導等のサービスを提供した。

- ・ 利用者数等

利用者実人数（月平均）	介護	54 名
	予防	10 名
利用者数(延べ)	介護	5,354 名
	予防	735 名

④ 地域包括支援センター事業（市受託事業）（事業区分：Ⅱ－6）

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を営むため、高齢者やその家族、関係機関からの相談に応じ、在宅での生活を支援した。また、多職種協働による地域ケア会議を定期的で開催し、個別ケースの課題解決にむけて協議した。

認知症地域支援推進員を配置し、研修や地域の行事参加を通して、地域住民や福祉専門職に認知症の正しい理解の普及・啓発に努めた。

- ・ 相談内容等

介護予防相談	231 名	権利擁護相談	28 名
医療関係相談	547 名	経済的支援相談	5 名
介護保険サービス等に関する相談	1,148 名	その他	125 名
認知症に関する相談	196 名	合計	2,280 名

○ 認知症関連研修・実施事業

認知症サポーター養成講座	6 回
地域ケア会議	10 回
オレンジカフェ（認知症カフェ）	11 回

○ 権利擁護・高齢者虐待対応に関する相談実績

成年後見制度に関する相談	9 件
高齢者虐待対応に関する相談	9 件

○ 認知症ケア総合推進事業等実績

認知症の人やその家族及び関係機関等からの相談に応じた支援を実施した。介入が難しいケースは、各関係機関との連携を図り対応した。認知症への正しい知識と理解を深めるための啓発や、認知症ケアパスの普及を図った。

○ 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

介護予防サービス計画作成状況	1,426 件
介護予防ケアマネジメント計画作成状況	827 件

○ 春日部市第2層生活支援体制整備事業

日常生活上のちょっとした困りごとに対する手助け（支援）を必要とする高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、第1層生活支援コーディネーターと連携して、地域住民による支えあい活動（生活支援）を広げるための体制づくりを進めた。

- ・ 地域のニーズと資源の状況の見える化
- ・ 地域の各種団体等への協力依頼及び関係者のネットワーク構築
- ・ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発
- ・ 地域支え合い会議の開催

○ フレイルチェック業務啓発事業

加齢によるフレイルへの早期の気づきを促すため、フレイルチェック測定会を実施するとともに、市民ボランティアであるフレイルサポーターの養成を行い、フレイル予防について普及啓発活動を行った。

(9) 障害福祉サービス事業

① 居宅介護事業（障がい者訪問介護）（事業区分：I－19）

日常生活を営むのに支障がある障がい者に対し、ホームヘルパーを派遣することで、適切な日常生活の援助を行うとともに、家族の介護負担の軽減を図った。

- ・ 利用者数等

	身体障害	知的障害	精神障害	移動支援	重度訪問介護	同行援護
利用者実人数 (月平均)	7 名	1 名	11 名	4 名	2 名	8 名
身体介護	241 時間 10 分	-	45 時間 55 分	102 時間 00 分	446 時間 55 分	
家事援助 (身体介護なし)	1,002 時間 40 分	61 時間 30 分	836 時間 55 分	73 時間 20 分		380 時間 10 分
合 計	1,243 時間 50 分	61 時間 30 分	882 時間 55 分	175 時間 20 分	446 時間 55 分	380 時間 10 分

② 地域活動支援センター事業（障害者デイサービス事業）（事業区分：Ⅰ－20）

地域において雇用・就労が困難な在宅障がい者に対して、通所により送迎、健康チェック、入浴、昼食、創作活動、レクリエーション、健康相談等の各種サービスを提供することにより、心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消、家族の身体的、精神的介護負担の軽減を図った。

- ・ 利用者実人数（月平均）：28 名 延べ利用者数：2,153 名

③ 障がい者通所支援施設の運営（指定管理事業）（事業区分：Ⅰ－21～30）

指定管理期間：令和 8 年 4 月 1 日～令和 13 年 3 月 31 日

心身障がい者に、知識と能力の向上に必要な訓練等を提供するとともに、自主性を育めるような支援を行うことで、日常生活と社会生活を促進できるよう支援した。

- ・ 利用者数等

		利用者数	延べ利用者数	月額平均工賃
就労継続支援施設 B 型	ふじ支援センター	14 名	2,882 名	11,128 円
	ゆりのき支援センター	27 名	5,951 名	16,616 円
	リサイクルショップ	15 名	3,172 名	18,172 円
	ひまわり園	17 名	3,149 名	9,009 円
生活介護	あおぞら	15 名	2,795 名	

（就労継続支援施設 B 型）

- ・ 高齢者及び障がい者世帯に対する買い物代行サービスについて、提供する仕組みを整えるとともに、周知を図った。
- ・ 他施設とも連携して、自主製品販売を実施した。

（生活介護）

- ・ 利用者家族の送迎にかかる負担軽減を図るとともに、利便性の向上を目的とした送迎サービスを実施した。

④ 春日部市障害者就労支援センター運営事業（市受託事業）（事業区分：Ⅱ－4）

一般就労を希望する障がい者や障がい者の雇用を希望する事業所からの相談を受け付けるとともに、職場実習の受入れ先の開拓や一般就労した障がい者が職場に定着できる

よう支援を行った。

- ・ 登録者数 1,074 名（身体：130 名、知的：419 名、精神：525 名）
- ・ 就労者数 525 名（身体：45 名、知的：262 名、精神：218 名）
- ・ 相談者数 971 名（身体：42 名、知的：399 名、精神：516 名、他：14 名）
- ・ 訪問支援 493 名（就労支援：168 名、定着支援：325 名）

(10) その他の事業

① 各福祉団体への助成（事業区分：Ⅰ－9）

地域福祉向上のため、下記団体へ助成した。

- ・ 春日部市ボランティア活動推進連絡会 180,000 円
- ・ 春日部市遺族連合会 72,000 円
- ・ 春日部市手をつなぐ親の会 54,000 円
- ・ 春日部市青少年相談員協議会 13,500 円
- ・ 春日部市青少年育成推進員協議会 45,000 円

② 共同募金運動の展開

自治会をはじめ、企業及び団体等の協力を得ながら、共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動を展開した。

- ・ 募金期間 令和 7 年 10 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日
- ・ 募金実績

	目標額	実績額	達成率
赤い羽根募金	16,502,000 円	15,718,858 円	95.3%
歳末たすけあい募金	4,947,000 円	4,435,982 円	89.7%

3. 収益事業

(1) 自動販売機設置経営事業の実施（事業区分：Ⅲ－1）

財源確保を図るため自動販売機を設置した。また、社会貢献の一環として売り上げの一部を社協に寄附する社会貢献型自動販売機の設置を市内法人等に働きかけた。

- ・ 市内公共施設（27 台）
あしすと春日部（2 台）、庄和社会福祉センター、庄和総合支所（3 台）
埼玉葛斎場、子育て支援センター（2 台）、正和工業にじいろホール（2 台）
市民センター（粕壁、豊春、正風館 2 台）、公民館（藤塚、幸松第二）、学校給食センター、公園（一ノ割公園、牛島古川公園、八幡公園、旧倉松公園、大枝公園）、消防署（本部、東分署、浜川戸分署）、龍Q館
- ・ 社会貢献型自動販売機（7 台）
㈱アリム、秋山総合防災㈱、伊澤氏物件、㈱石原造園土木、松崎邸
㈱福寿、ともにハウス
- ・ 手数料収入 3,248,024 円

(2) 不要入れ歯リサイクル事業

NPO 法人日本入れ歯リサイクル協会の協力のもと、不要となった入れ歯（金属部分）を回収、リサイクルすることによる収益金を地域福祉推進に活用した。

- ・ 回収ボックス設置場所 市役所本庁舎、庄和総合支所、武里出張所
総合福祉センター
- ・ 回収個数：154 個 金額：121,836 円

令和7年度「市民福祉まつり・第38回ふれあい広場」事業報告

- 1 日時 令和7年11月30日（日） 午前11時～ 午後3時
- 2 場所 春日部市役所内
ひだまりホール、まちなかひろば、まちのリビング、ホワイエ
- 3 テーマ つながる・まじわる・ひろがる春日部
- 4 主催 社会福祉法人 春日部市社会福祉協議会
- 5 主管 第38回 ふれあい広場実行委員会
- 6 後援 春日部市、春日部市教育委員会
- 7 来場者数 約1,500人
- 8 参加団体数 39団体
- 9 協賛団体 23団体：173,395円
- 10 ふれあい募金 4,152円

11 開催内容

(1) ひだまりホール

① 市内ボランティア団体等による発表

予定時間	発表団体等
11:15～11:35	松実高等学園（生徒による活動発表）
11:35～12:05	DROPS.（みんなで踊ろうコーナー）
13:20～13:40	サラ民踊クラブ（民踊）
13:40～14:00	ともに福祉会 ODR19（利用者によるダンス発表）
14:00～14:30	おおぞら高等学院（生徒による活動発表）

(2) まちなかひろば

① 市内福祉団体等による販売・展示

② 「春日部市社会福祉法人連絡会」及び「子どもの支援ネットワーク」によるフードドライブ 実績：17件 690個

③ 市役所各課からの情報コーナー

- ④ 市内福祉情報の上映(ステージモニター)
- ⑤ トイレカーの展示

(3) まちのリビング

- ① 市内福祉団体等による販売・展示
- ② 市内福祉団体等によるワークショップ

(4) ホワイエ

- ① 市内福祉団体等による販売・展示

(5) その他

- ① スタンプラリー実施

12 協力・協賛団体

春日部市社会福祉法人連絡会	子どもの支援ネットワーク
生活協同組合コープみらい	(株)アリム
(株)東京コーン紙製作所	甲府水道土木(株)
さいたま春日部市場(株)	東武証券(株)
(株)三和文具	上原商事(有)
(有)あすかホール	(有)あすま商事
(有)庄和商事	(有)やまや新館
(一社)春日部市医師会	(一社)春日部市薬剤師会
(福)春栄会特別養護老人ホームおおまし	(福)恩賜財団済生会支部埼玉県済生会彩光苑
NPO 法人MCKコミュニティ	春日部環境衛生事業協同組合
東武電気商会	指定管理者庄和商工会道の駅庄和
春日部西ロータリークラブ	春日部地区保護司会春日部支部
武里団地自治会協議会	春日部市吟道連盟